

認定介護福祉士に求められる発信力 ～後進の育成に着目して～

野田由佳里*¹⁾、植田裕太郎²⁾

¹⁾聖隷クリストファー大学、²⁾群馬社会福祉専門学校

I. 目的

認定介護福祉士を対象とし、資格取得過程において、どのようなものに影響され、具体的にどう変化したかの変容の実際を明らかにする。また介護職チームにおける後進の育成にどのように関与すべきかの示唆を得る。

II. 方法 1

- ・ 縦断研究の検証（2019、2020、2021 年度）
- ・ 成果 野田由佳里・植田裕太郎（2023）「認定介護福祉士達はなぜ養成研修で介護職チームを意識できたのか」聖隷クリストファー大学社会福祉学部紀要 21 号,pp36-42 掲載

III. 方法 2

- ・ インタビュー調査（倫理承認番号 22044）
- ・ 調査対象者：スノーボール方式によって調査協力を得られた認定介護福祉士
- ・ データ分析：質的研究法・事例コードマトリックスの作成
- ・ 結果及び分析過程

インタビュー調査は倫理委員会承認後の 2023 年 2 月 17 日～3 月 10 日で行った。合計 16 名の協力を得ることができた。

表 1 調査対象者の属性及び分析過程

（表記の説明 年数：介護経験年数 網掛け：終了部分 逐語：逐語録の作成 セグ：セグメント コー：オープンコーディング）

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N | O | P |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 性別 | 女性 | 男性 | 女性 | 女性 | 女性 | 女性 | 女性 | 男性 | 女性 | 女性 | 男性 | 女性 | 女性 | 女性 | 女性 | 女性 |
| 年代 | 60 | 51 | 40 | 50 | 50 | 40 | 50 | 40 | 60 | 40 | 40 | 40 | 50 | 50 | 30 | 50 |
| 年数 | 20 | 20 | 22 | 23 | 23 | 22 | 15 | 22 | 20 | 20 | 23 | 12 | 33 | 30 | 17 | 30 |
| 逐語 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| セグ | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コー | | | | | | | | | | | | | | | | |

研究に着手するのが遅かったため、現時点では 3 名のオープンコーディングが終わったのみである。9 月に開催される介護福祉学会で発表をするために今後も分析を進め、考察をする予定である。3 名のオープンコーディングからは【成熟しているチーム (A さん)】【体験の咀嚼 (C さん)】【「根拠」「発信」「展開」を考える姿勢 (D さん)】など、本研究の示唆となるカテゴリーを抽出している。今後も継続研究とする。

| | |
|------|----------------------|
| 倫理審査 | ■承認番号 (22044) □該当しない |
| 利益相反 | ■なし □あり () |